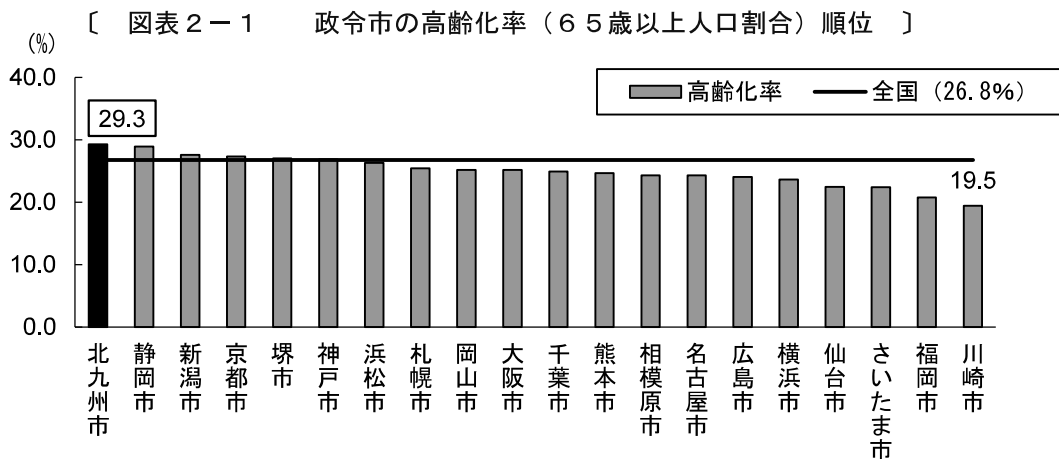


第2章 北九州市国民健康保険の現状と課題

1 北九州市の特徴

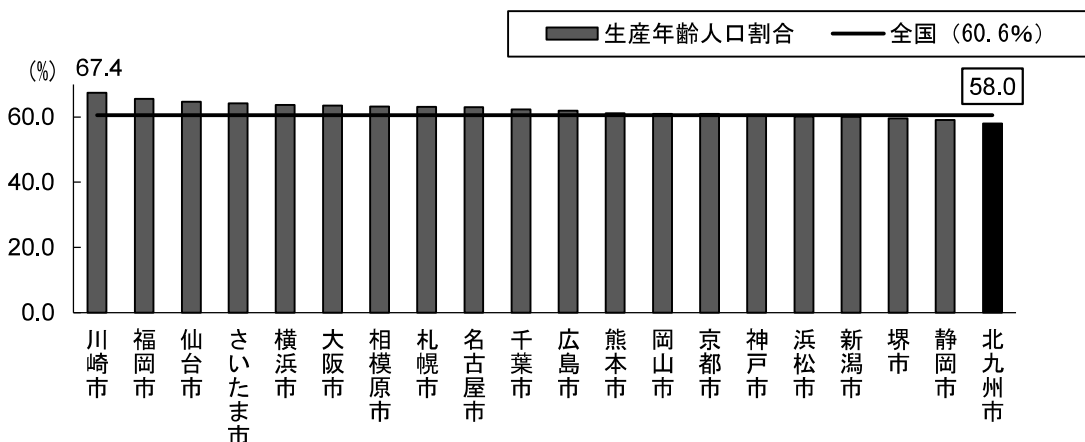
(1) 人口と年齢別人口割合

本市の人口は平成29年で966,628人（住民基本台帳平成29年1月1日現在）、高齢化率は29.3%と、政令市の中で最も高くなっています（図表2-1）。また、生産年齢人口割合は58.0%であり、全国の60.6%より低く、政令市の中で最も低くなっています。人口の自然増減率^{※1}も減少傾向にあり、高齢者を支える人口が少ないことから、健康寿命^{※2}の延伸は今後ますます重要です（図表2-2、2-3）。



【出典】平成29年1月1日現在 住民基本台帳人口・世帯数、平成28年1月1日～12月31日人口動態統計

[図表2-2 政令市の実年齢人口割合（15～64歳人口割合）順位]



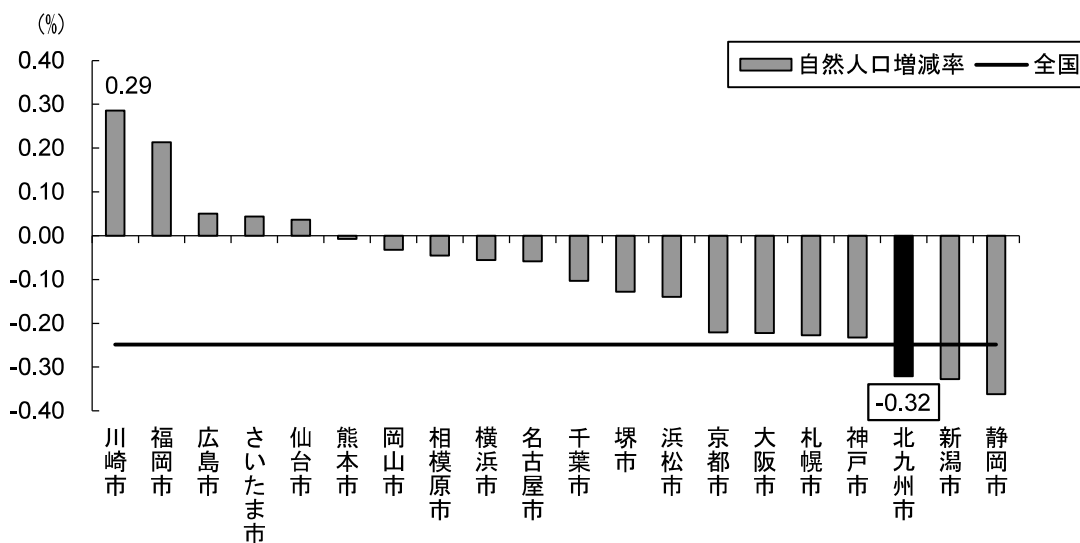
【出典】平成29年1月1日現在 住民基本台帳人口・世帯数、平成28年1月1日～12月31日人口動態統計

※1 自然増減率：(出生数－死亡数) ÷ 人口 × 100 で算出したもの

※2 健康寿命：健康上の問題で、日常生活に制限のない期間のこと

平均寿命と健康寿命との差は、日常生活に制限のある「不健康な期間」を意味し、この差が拡大すると医療費や介護給付費の拡大につながる

〔 図表 2-3 政令市の自然人口増減率 〕

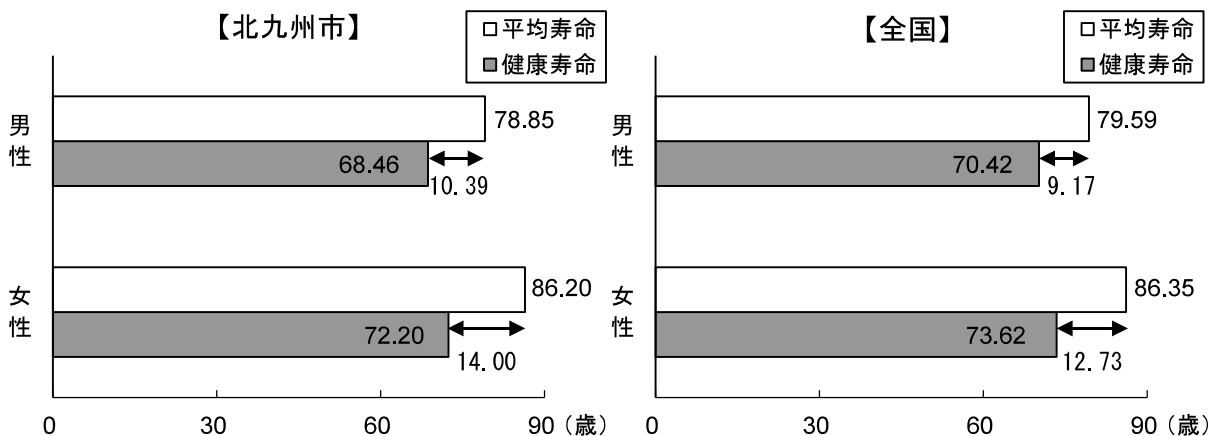


【出典】平成 29 年 1 月 1 日現在 住民基本台帳人口・世帯数、平成 28 年 1 月 1 日～12 月 31 日人口動態統計

(2) 平均寿命と健康寿命

本市の平均寿命は男女とも、全国との差はほとんどありません。しかし、平均寿命と健康寿命の差は男女とも全国値と比較し、大きくなっています (図表 2-4)。

〔 図表 2-4 平均寿命と健康寿命 〕



【出典】平均寿命：平成 22 年完全生命表 (厚生労働省)

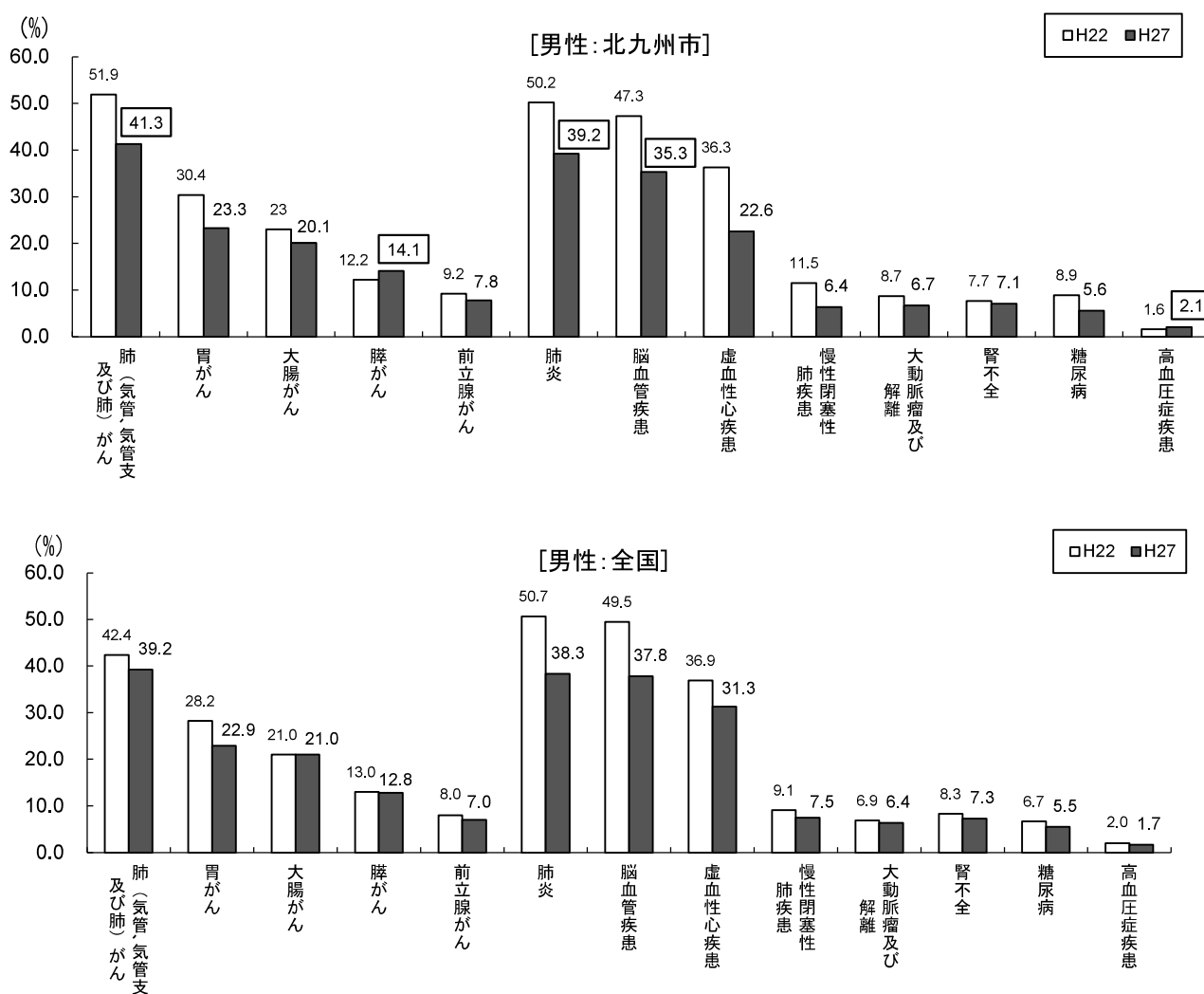
健康寿命：厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病予防対策の費用対効果に関する研究」

(3) 市全体の死亡の状況

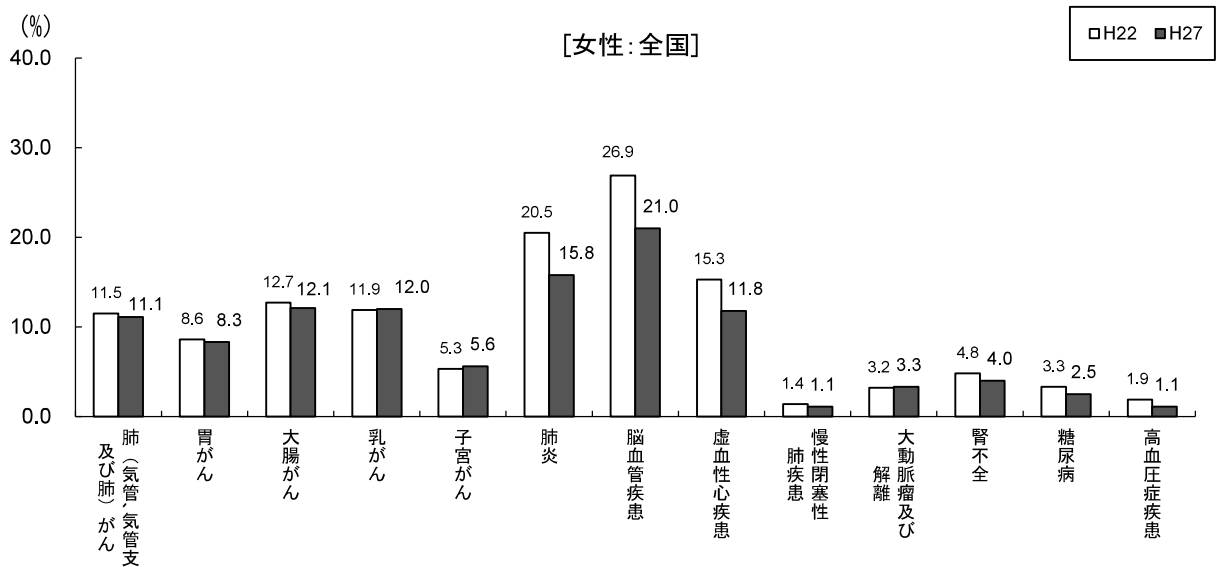
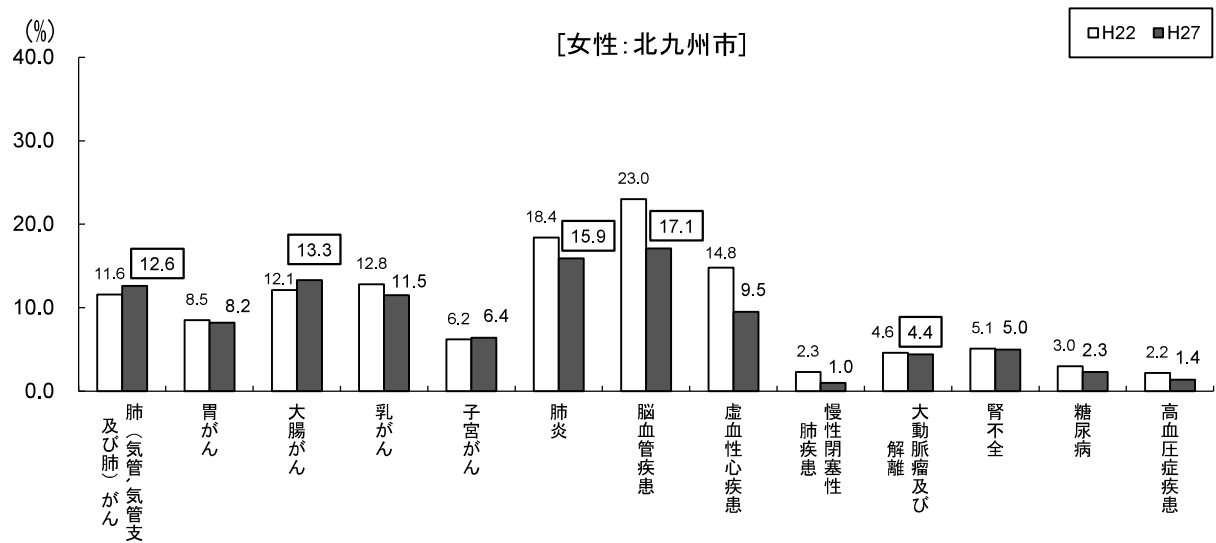
本市の年齢調整死亡率^{※1}を見ると、男性では、平成22、27年とも「肺がん」、「肺炎」、「脳血管疾患」の順に高くなっています。全国と比較すると「肺がん」の死亡率は減少傾向にあるものの、高くなっています。また平成22年と比較して「膵がん」、「高血圧症疾患」はやや増加しています。

女性では、平成22年は高い順から「脳血管疾患」、「肺炎」、「虚血性心疾患」でしたが、平成27年は「脳血管疾患」、「肺炎」、「大腸がん」の順に高くなっています。また、平成22年と比較して「肺がん」、「大腸がん」が増加しています。また、全国値と比較すると、「肺がん」、「大腸がん」、「大動脈瘤及び解離」等は高い傾向にあります（図表2-5）。

〔 図表2-5 年齢調整死亡率の推移 〕



※1 年齢調整死亡率：年齢構成の違いを考慮して補正した死亡率



【出典】人口動態統計（厚生労働省 平成22年度、平成27年度）

(4) 65歳未満の死亡の状況

65歳未満の死因はがんが4割以上を占めており（図表2-6）、部位別にみると男性は「気管、気管支及び肺」、女性は「乳房」が最も多くなっています（図表2-7）。喫煙は肺がんの危険因子の一つであり、飲酒や肥満は乳がんの危険因子とされていることから、若年からの生活習慣改善の対策は重要です。関係部署と連携し、課題の共有及び予防対策の推進をしていく必要があります。

〔 図表2-6 65歳未満の死因 〕

	H22		H27	
1位	がん	40.4%	がん	44.2%
2位	循環器系の疾患	18.3%	自殺	9.7%
3位	自殺	11.6%	循環器系の疾患	7.7%

【出典】北九州市衛生統計年報（平成22年度、平成27年度）

〔 図表2-7 65歳未満の死因のうちがんの部位別順位（男女別） 〕

	男	女
1位	気管、気管支及び肺	乳房
2位	肝及び肝内胆管	結腸
3位	膵臓	気管、気管支及び肺

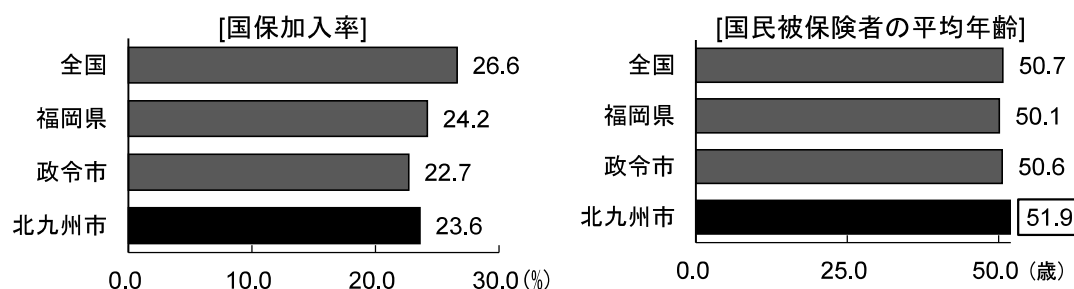
【出典】北九州市衛生統計年報（平成27年度）

2 北九州市国民健康保険の特徴

(1) 北九州市国民健康保険加入率と平均年齢

北九州市では市民全体の約23.6%（平成29年7月時点）が北九州市国民健康保険に加入しており、被保険者の平均年齢は51.9歳と国や県、政令市^{※1}平均よりも高くなっています（図表2-8）。本市の国保加入者の割合は60歳以降に急激に上昇し、60歳から70歳代の半数以上が国保加入者となっています（図表2-9）。

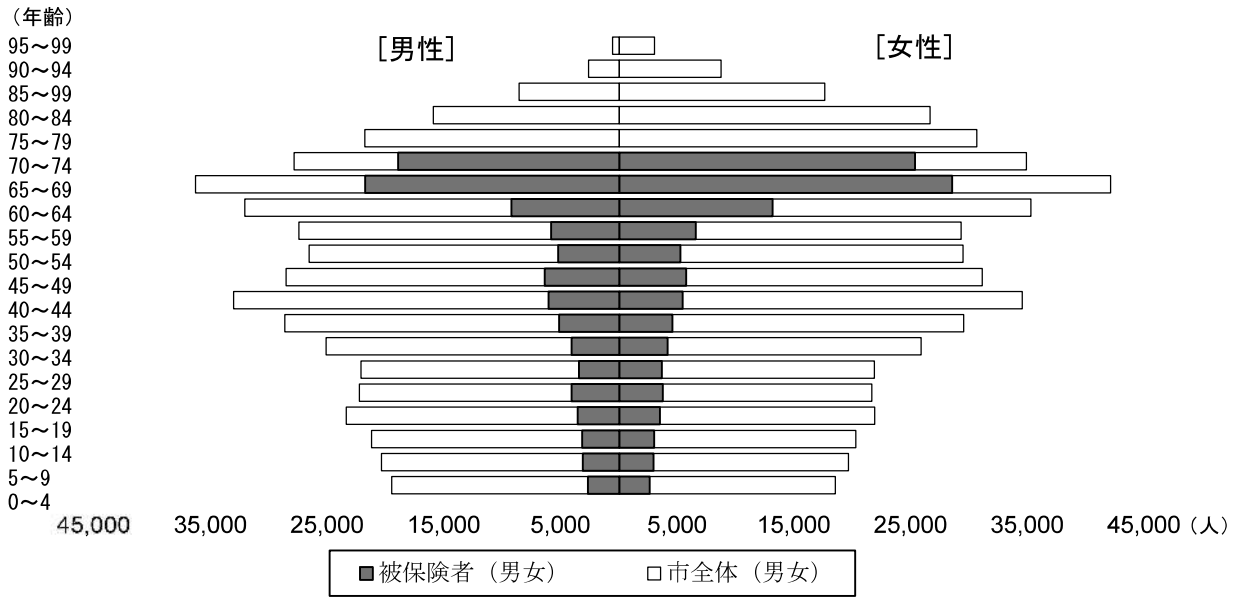
〔 図表2-8 国保加入率と国保被保険者の平均年齢 〕



【出典】KDB（平成29年7月）

※1 KDB参加政令市：札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、岡山市、北九州市、福岡市、熊本市（18市/20市）

〔 図表 2-9 北九州市の人口構成と国保被保険者数 〕

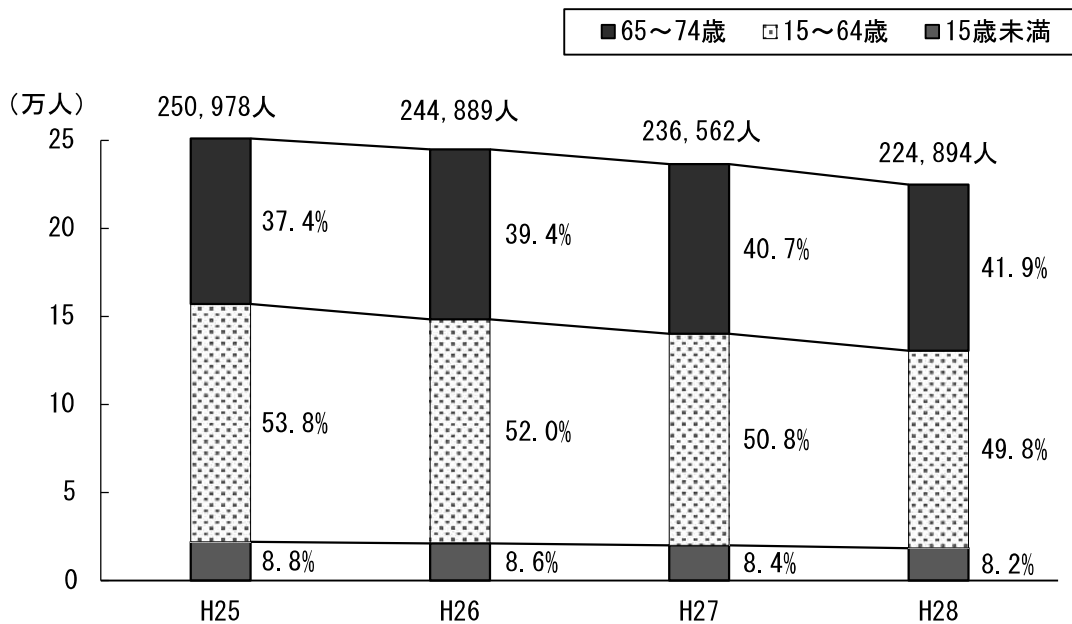


【出典】KDB（平成 29 年 7 月）

（2） 北九州市国民健康保険被保険者数の推移

北九州市国民健康保険の被保険者数は平成 25 年度の 250,978 人から平成 28 年度の 224,894 人と減少傾向にあります。0～64 歳の被保険者は減少傾向にあり、65～74 歳は増加傾向にあります（図表 2-10）。

〔 図表 2-10 国保被保険者数と年齢別の推移 〕



【出典】KDB（平成 25～28 年度）

3 レセプトからみた疾病の状況

(1) 脳血管疾患・虚血性心疾患・慢性腎不全の患者数

脳血管疾患^{※1}については、患者数の割合は増加していますが、新規患者数の割合は減少しています。

虚血性心疾患^{※2}については、患者数の割合が横ばいで経過しており、被保険者における新規患者数^{※3}の割合は減少しています。また、新規患者のうち診断月に入院している者の割合は減少しており、重症化してからの新規受診者は減っていると考えられます（図表2-11、2-12）。

慢性腎不全（人工透析有）については、人工透析全体の患者数の割合は横ばいですが、被保険者数における新規患者数の割合が増加しています。また、糖尿病の診断がある者の割合は増加しており、新規患者のうち糖尿病有病者は8割以上にのぼります（図表2-13）。

〔 図表2-11 脳血管疾患 〕

	被保険者数	脳血管疾患患者数		新規患者数		診断月入院あり	
	A	B	B/A	C	被保千人 当たり	D	D/B
25年度	250,978人	9,540人	3.80%	6,202人	24.7	1,893人	19.8%
28年度	224,894人	8,867人	3.94%	4,345人	19.3	1,314人	14.8%

〔 図表2-12 虚血性心疾患 〕

	被保険者数	虚血性心疾患患者数		新規患者数		診断月入院あり	
	A	B	B/A	C	被保千人 当たり	D	D/B
25年度	250,978人	12,310人	4.90%	5,953人	23.7	1,667人	13.5%
28年度	224,894人	11,003人	4.89%	4,451人	19.8	1,299人	11.8%

〔 図表2-13 慢性腎不全（人工透析有） 〕

	被保険者数	人工透析患者数		新規患者数		糖尿病あり	
	A	B	B/A	D	被保千人 当たり	E	E/D
25年度	250,978人	521人	0.21%	102人	0.41	85人	83.3%
28年度	224,894人	451人	0.20%	114人	0.51	95人	83.3%

【出典】KDB（平成25年度、平成28年度）、保健事業等評価・分析システム

- ※1 脳血管疾患：脳梗塞と脳出血のレセプト集計（KDB集計要件より）
- ※2 虚血性心疾患：狭心症と心筋梗塞のレセプト集計（KDB集計要件より）
- ※3 新規患者：脳梗塞や心筋梗塞等の該当疾患の診断が初めてついた者

(2) 生活習慣病の状況

脳血管疾患^{※1}、虚血性心疾患^{※2}、糖尿病性腎症^{※3}といった重症化した疾患で治療中の者の多くは、危険因子である高血圧症、糖尿病、脂質異常症等を有しています。特に高血圧症は、脳血管疾患の者の78.2%、虚血性心疾患の者の76.9%、糖尿病性腎症の者の79.1%と約8割の者が保有しています（図表2-14）。

〔 図表2-14 生活習慣病の状況 〕

生活習慣病の治療者数全体 87,517人 A	短期的な目標		中長期的な目標					
	高血圧症		脳血管疾患		虚血性心疾患		糖尿病性腎症	
	47,570人	B	8,867人	E	11,003人	F	1,462人	G
	54.4%	B/A	10.1%	E/A	12.6%	F/A	1.7%	G/A
	糖尿病		高血圧症		糖尿病		脂質異常症	
	25,713人	C	6,935人	H	8,459人	I	1,156人	J
	29.4%	C/A	78.2%	H/E	76.9%	I/F	79.1%	J/G
	脂質異常症		脂質異常症		脂質異常症		脂質異常症	
	39,456人	D	3,796人	K	5,089人	L	1,462人	M
	45.1%	D/A	42.8%	K/E	46.3%	L/F	100.0%	M/G
		5,470人	N	7,623人	O	1,011人	P	
		61.7%	N/E	69.3%	O/F	69.2%	P/G	

【出典】KDB（平成28年度）

※1 脳血管疾患：くも膜下出血・脳内出血・その他の非外傷性頭蓋内出血・脳梗塞・脳卒中、脳出血又は脳梗塞と明示されないもの・脳実質外動脈の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの 他（KDB集計要件より）

※2 虚血性心疾患：狭心症・急性心筋梗塞・再発性心筋梗塞・急性心筋梗塞の続発合併症 他（KDB集計要件より）

※3 糖尿病性腎症：糖尿病のうち、糖尿病性腎症対象者（KDB集計要件より）